



2019年4月24日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
 問 合 せ 先 執行役員 経営企画本部長 鎌 谷 賢 之
 電 話 番 号 03-5337-1337
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

取締役人事および当社グループの新経営体制に関するお知らせ

～取締役会議長として 中井戸 信英 氏を招聘し、コーポレートガバナンスの進化へ～

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり 2019 年 6 月 22 日付での取締役人事の内定について決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、この人事は、2019 年 6 月 22 日開催予定の第 16 回定時株主総会およびその後の取締役会を経て正式に決定する予定です。

また、当社グループは 2019 年 4 月 1 日付で、持続的な成長基盤の構築に向けた新経営体制に移行いたしましたので、その概要についてもお知らせいたします。

記

1. 新任取締役候補者および取締役の異動の内容 (2019 年 6 月 22 日付)

氏名	新役職名	現役職名
中井戸 信英 (なかいど のぶひで)	取締役 取締役会議長	—
望月 愛子 (もちづき あいこ)	取締役	—
松本 晃 (まつもと あきら)	特別顧問	取締役 構造改革担当

※中井戸信英氏および望月愛子氏は、社外取締役候補者です。

2. 異動の理由および新経営体制の概要

当社グループは、構造改革の具体的施策の一環として、2019 年 1 月 1 日付で監督と執行の分離を目的に取締役会の改革および執行役員制度の導入を実施いたしました。

また、事業の選択と集中に向けて、短期的な収益改善が難しい事業および当初想定していたグループシナジーが見込めない事業の整理を進めてまいりました。具体的には、SDエンターテイメント株式会社の一部事業の譲渡 (2018 年 11 月 13 日開示)、株式会社ジャパングートウェイの譲渡 (2019 年 1 月 25 日開示) および株式会社タツミプランニングの新設分割による一部事業の譲渡 (2019 年 3 月 29 日開示) を実施いたしました。さらに、その他の当社グループの全ての事業を対象にグループ横断的な経営合理化等の施策による構造改革関連費用等を 2019 年 3 月期中に集中的に計上する方針としております。

当社グループは、前期 (2019 年 3 月期) においては、上記のとおり、緊急性の高い構造改革施策を短期集中的に実行いたしました。今期 (2020 年 3 月期) においては、連結営業利益の黒字化の達成およびその後の持続的な成長に向けた経営基盤の構築に注力する方針に転換いたします。これに伴い、当社の

経営体制も、新たなグループ戦略の実行に最適な体制への移行を行います。具体的な内容は以下のとおりです。

(1) 取締役会の構成変更

昨年 11 月より推進してきた事業の選択と集中および構造改革関連費用等の集中的な計上等の緊急性の高い構造改革施策の実行に一定の目途が立ったため、従来の「構造改革担当取締役」職を発展的に解消し、新たに「取締役会議長」職を設置するとともに社外取締役を 3 名から 5 名に増員することにより、当社グループの持続的成長のための経営基盤の構築に向けた迅速な意思決定と適切な監督を推進するための体制を強化いたします。

(取締役会議長候補 中井戸 信英 氏について)

新たに設置する取締役会議長には、住友商事株式会社 代表取締役 副社長、SCSK株式会社 代表取締役会長および社長などを歴任し、長年にわたる経営経験と卓越した実績を有する経営者として著名な中井戸信英氏を招聘いたします。

中井戸氏は、当社の取締役会議長として、当社グループの持続的な成長基盤の構築に向けた当社グループ全体の経営・執行の監督を担当いたします。

また、中井戸氏は、「準常勤」の社外取締役として当社グループの各事業・機能の業務執行にも深く関与する中で、より充実した実効性の高い取締役会の運営を通じた当社グループの「コーポレートガバナンスの進化」に向けた体制構築を目指すとともに、今後の当社グループ戦略における重点領域において代表取締役社長のサポート・支援に注力いたします。

(社外取締役候補 望月 愛子 氏について)

新任の社外取締役には、株式会社経営共創基盤 パートナー マネージングディレクターおよび株式会社 IGPI テクノロジー 代表取締役 CEO として、事業戦略・M&A・ガバナンス領域から、テクノロジー分野における投資・新規事業育成などの分野における幅広い知見を有する 望月愛子氏を招聘いたします。

(今後の当社グループ戦略における重点領域について)

当社グループの持続的な成長基盤の構築に向けて、今回就任予定の新任社外取締役候補の中井戸氏および望月氏は、それぞれの経験・実績を活かし、今後の当社グループ戦略における以下の重点領域において当社の取締役として中心的な役割を果たしてまいります。

① グループ経営管理の強化

- ・ 中井戸氏の住友商事株式会社におけるグループ経営の豊富な経験と実績、住商情報システム株式会社と株式会社CSKの大型合併および両社の経営統合の推進、ならびに、望月氏の経営共創基盤における幅広い分野の事業に関する経営支援の知見を活かし、グループ会社の収益力強化、計画実行の確実性の向上、および、グループシナジーの推進を中心とした「グループ経営管理の強化」に向けた各種施策の推進に注力いたします。

② 情報システム整備・テクノロジー面での成長戦略

- ・ 中井戸氏のSCSK株式会社でのシステム・テクノロジー分野における経営経験と実績、および、望月氏の先端技術・テクノロジー領域を中心とした投資戦略・新規事業の育成などにおける知見を活かし、当社のコア事業であるRIZAP 関連事業の競争力向上に向けた「情報システム整備」および「テクノロジー面での成長戦略」にも注力いたします。

③ 健康経営・働き方改革を通じた生産性向上・RIZAP 法人事業の強化

- ・ 中井戸氏のSCSK株式会社での「健康経営」「働き方改革」における経験・実績に基づき、当社グループ全体の生産性の向上およびRIZAP の法人向け事業の強化にも注力いたします。

(取締役 構造改革担当 松本 晃 について)

これまで取締役 構造改革担当として当社グループの構造改革において大きな役割を果たしてきた松本 晃は、2019 年 6 月 22 日付で当社取締役を任期満了で退任、同日付で特別顧問に就任し、引き続き、当社の持続的成長に向けた代表取締役社長の支援に注力いたします。

今回の取締役会の構成変更に関する、代表取締役社長 瀬戸健および取締役 構造改革担当 松本晃からのコメントは以下のとおりです。

<代表取締役社長 瀬戸 健のコメント>

「松本さんには、当社の抜本的な構造改革を短期集中的に実行するにあたって非常に大きな役割を果たしていただきました。また、当社グループの経営および私自身について数多くの貴重なアドバイスも頂き、心より感謝しています。今後、RIZAP グループは体制を一新し、再成長に向けた経営基盤強化の段階に移行しますが、松本さんには引き続きご支援・ご指導をお願いしています。」

<取締役 構造改革担当 松本 晃のコメント>

「RIZAP グループの構造改革において緊急的に実行すべきものは目途が立ち、短い期間でしたが一定の役割を果たすことが出来ました。RIZAP グループには将来が期待できる事業がいくつか存在し、必要な施策を着実に実行することで今期は黒字化、来期はV字回復ができると期待しています。私個人としては、今後は広く社会に貢献できる新しいテーマにも挑戦していく予定ですが、RIZAP グループおよび瀬戸社長にはアドバイザーとして引き続きサポートしていきます。」

(2) 執行体制の変更およびグループ会社の再編

上記の取締役会の構成変更に加えて、2019 年 4 月 1 日付で、当社グループの執行体制についても変更を行い、執行権限および執行責任をより明確にし、経営の機動性および計画実行の確実性が向上するよう、体制を強化してまいります。

具体的には、当社グループ全体の執行体制を、中核子会社（10 社）およびその傘下のグループ会社群から構成される体制に再編・集約いたします。中核子会社には、当社グループのコア事業である RIZAP 株式会社をはじめ、上場グループ会社を中心とした当社の中核事業を担当する会社を配置するとともに、投資機能および経営再建支援機能に特化した中間持株会社である RIZAP インベストメント株式会社を配置しております。

また、純粋持株会社である当社（RIZAP グループ株式会社）については、組織・人員を大幅にスリム化するとともに、機能子会社として新設する RIZAP トレーディング株式会社を通じて物流・調達・サプライチェーン等のグループ横断的機能の強化を推進してまいります。

(ご参考：中核子会社 10 社について[2019 年 4 月 1 日付])

- (1) RIZAP 株式会社、(2) MR Kホールディングス株式会社、(3) 株式会社ジャパングャルズ、
- (4) 株式会社ワンダーコーポレーション、(5) 株式会社イデアインターナショナル、
- (6) 株式会社 HAPiNS、(7) 夢展望株式会社、(8) 株式会社ジーンズメイト、
- (9) 堀田丸正株式会社、(10) RIZAP インベストメント株式会社

以 上

<ご参考：取締役 一覧（2019年6月22日付 予定）>

代表取締役社長	瀬戸 健	
取締役 取締役会議長	中井戸 信英	(社外取締役)
取締役 監査等委員	大谷 章二	(社外取締役)
取締役 監査等委員	近田 直裕	(社外取締役)
取締役 監査等委員	吉田 桂公	(社外取締役)
取締役	望月 愛子	(社外取締役)

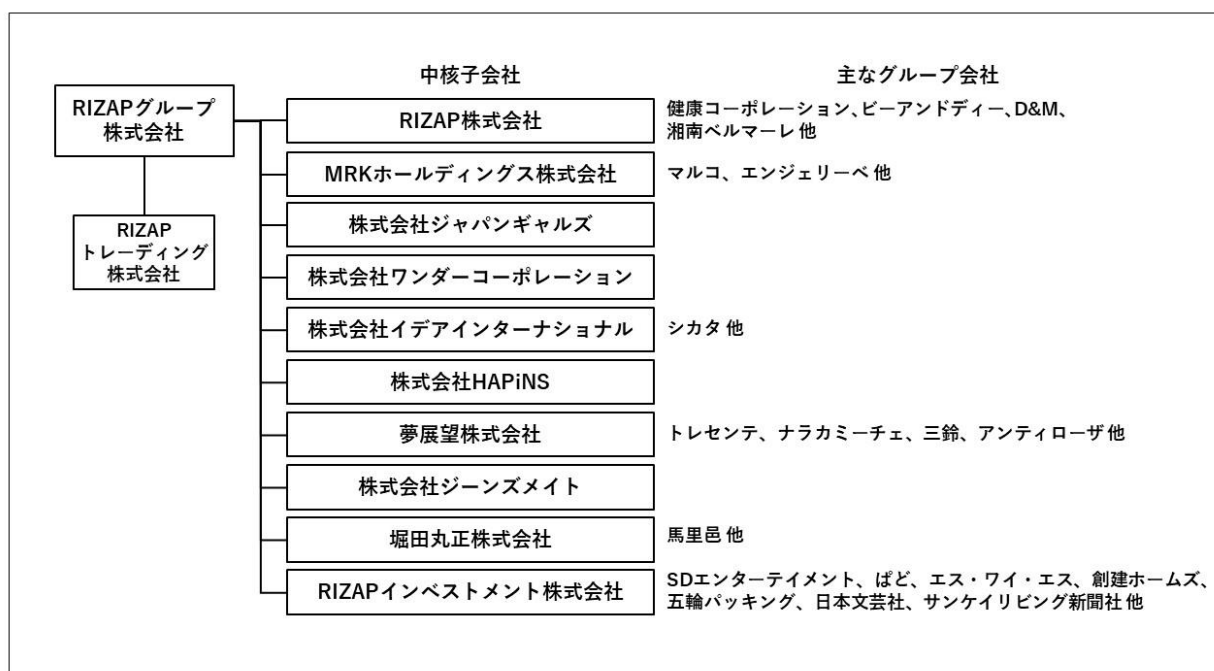
<ご参考：執行役員 一覧（2019年4月1日付）>

執行役員	内藤 雅義	(ワンダー事業統括/ 株式会社ワンダーコーポレーション 代表取締役会長兼社長)
執行役員	森 正人	(アイデア事業統括/株式会社アイデアインターナショナル 代表取締役社長)
執行役員	岩本 眞二	(MRK事業統括/MRKホールディングス株式会社 代表取締役社長)
執行役員	濱中 眞紀夫	(夢展望事業統括/夢展望株式会社 代表取締役社長)
執行役員	平川 眞淳	(インベストメント事業統括/ RIZAP インベストメント株式会社 代表取締役社長)
執行役員	迎 綱治	(RIZAP スタジオ事業統括/RIZAP 株式会社 取締役)
執行役員	長谷川 亨	(R50 プロジェクト推進統括/RIZAP トレーディング株式会社 代表取締役社長)
執行役員	香西 哲雄	(事業戦略統括/事業戦略室長)
執行役員	岡田 章二	(情報システム統括/業務システム部 管掌)
執行役員	鎌谷 賢之	(経営企画統括/経営企画本部長)
執行役員	玉上 宗人	(管理統括/管理本部長)

※執行役員 濱中眞紀夫、平川眞淳、迎綱治、長谷川亨、鎌谷賢之および玉上宗人は、2019年4月1日付で執行役員に就任しております。

※上記の括弧内の担当に関する記載は、当社の部門長職および主な事業会社の代表職についてのみ記載しております。

<ご参考：RIZAP グループ 体制図（2019年4月1日付）>



<ご参考：新任取締役候補の略歴>

(1) 中井戸 信英 (なかいど のぶひで)

- ・生年月日：1946年11月1日生(72才)
- ・略歴：1971年3月 大阪大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1971年4月 住友商事株式会社入社
- 1996年6月 米国住友商事 駐在
- 1998年6月 同社 取締役
- 2002年4月 住友商事株式会社 代表取締役 常務取締役 情報産業事業部門長補佐 ネットワーク事業本部長
- 2004年4月 同社 代表取締役 専務執行役員
- 2005年4月 同社 代表取締役 副社長執行役員 コーポレート・コーディネーションオフィサー
- 2009年6月 住商情報システム株式会社(現 SCSK 株式会社) 代表取締役会長兼社長 社長執行役員
- 2011年10月 SCSK 株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
- 2013年6月 同社 代表取締役会長 兼 CEO
- 2016年4月 同社 取締役相談役
- 2016年6月 同社 相談役

(その他、現任の企業・団体等)

- ・ いちご株式会社 取締役(社外取締役)
- ・ イーソル株式会社 取締役(社外取締役)
- ・ 一般社団法人日本CHRO協会 理事長

(2) 望月 愛子 (もちづき あいこ)

- ・生年月日：1979年5月22日生(39才)
- ・略歴：2002年3月 早稲田大学 政治経済学部 卒業
- 2002年4月 中央青山監査法人入所
- 2005年4月 公認会計士登録
- 2007年8月 株式会社経営共創基盤入社
- 2014年6月 日本アビオニクス株式会社 取締役(現任)
- 2016年10月 株式会社経営共創基盤 パートナー マネージングディレクター(現任)
- 2018年7月 株式会社IGPI テクノロジー 代表取締役CEO(現任)

<ご参考： 中井戸 信英 氏の主な実績について>

(1) 住友商事株式会社における実績

- ・ 住友商事株式会社の情報産業・エレクトロニクス部門の取締役として、現在の同社の収益の柱であるジュピターテレコム (J:COM)、通販のショップチャンネルおよびSCSK株式会社などを中核としたメディア・生活関連事業の立上げおよび育成を推進
- ・ 1998年8月 米国シリコンバレーにベンチャー投資会社プレジディオ・ベンチャーズを設立
(同社はその後20年以上に渡りコーポレートベンチャーキャピタルとしてICT・メディア分野で革新的な技術・事業モデルのベンチャー企業への投資と新たなビジネス創出活動を継続)
- ・ 2005年3月 株式会社ジュピターテレコムの株式上場 (現：東京証券取引所 JASDAQ 市場)

(2) SCSK株式会社における実績

- ・ 2009年6月の住商情報システム株式会社 代表取締役会長兼社長就任後、2011年10月に株式会社CSKとの大型合併およびその後の経営統合・融合の推進により事業規模を3,000億円規模に倍増させるとともに、健康経営・働き方改革の推進による生産性の大幅向上・業務の標準化・品質向上などの経営改革をはじめ、サービス提供型ビジネスへのシフト、自動運転時代の本格到来に備えた車載OS・ソフト開発・標準化、データセンターへの戦略的投資などの成長戦略の推進により、同社は2011年3月期から2018年3月期まで8期連続の増収増益を達成中
- ・ 中井戸氏在任期間中の時価総額は5.9倍に飛躍的に成長
(2009年6月時点の806億円から2016年3月時点の4,751億円へ)
- ・ 業績面においても売上高は2.5倍、営業利益が5.2倍、営業利益率が5.0%から10.2%と大幅に拡大 (社長就任時の2010年3月期と会長退任直後の2017年3月期との比較)
- ・ 2015年3月 経済産業省・東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄」・「なでしこ銘柄」に選定 (2014年度から5年連続での選定を継続中)
- ・ 2015年10月 日本経済新聞社「人を活かす会社」総合ランキングで2年連続首位を獲得
- ・ 2015年12月 「女性が輝く先進企業表彰」において内閣総理大臣表彰を受賞

(参考) SCSK株式会社の業績推移 (連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	営業利益率	中井戸氏およびSCSK株式会社の主なトピックス
2009年3月期	134,263	9,028	6.7%	中井戸氏就任の直前年度
2010年3月期	127,317	6,423	5.0%	中井戸氏が代表取締役会長兼社長に就任
2011年3月期	132,840	7,076	5.3%	
2012年3月期	200,326	12,879	6.4%	株式会社CSKと合併
2013年3月期	278,634	20,803	7.5%	
2014年3月期	288,236	23,974	8.3%	中井戸氏が代表取締役会長に就任
2015年3月期	297,633	28,003	9.4%	「健康経営銘柄」に選定 (現在5年連続選定中)
2016年3月期	323,945	31,785	9.8%	日経「人を活かす会社」2年連続首位を獲得
2017年3月期	329,303	33,714	10.2%	相談役に就任
2018年3月期	336,654	34,602	10.3%	

※2011年3月期以前の数値は、2011年10月に株式会社CSKと合併しSCSK株式会社に商号変更を行う前の住商情報システム株式会社の経営数値等を記載しております。